

アドバンス・ケア・プランニング推進に関する研究

研究分野: 老年看護学 地域福祉

キーワード: 老年看護・エンディングノート・終活・介護予防

貢献できるSDGsの区分:



看護栄養学部 看護学科 准教授 馬場 保子

教員情報URL <https://sun.ac.jp/baba-yasu/>

研究概要

終活に対して高齢者は関心が高い傾向にありますが、自分の大切にしたい終末期への思いを、なかなか家族に伝えることができていません。人生の最期を満足して迎えるためには、元気なうちにこれからの人生を考え家族や医療者と話し合う人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)への取り組みが必要です。

2014(平成26)年から、大村市の「人生ノート(エンディングノート)検討委員会」のメンバーとして活動をしています。大村市では介護予防・生きがいづくりの一環として、「人生ノート」を活用してアドバンス・ケア・プランニングのきっかけづくりに役立っています。令和4年度は、家族で楽しみながら人生の最期について語り合うことができるようなカードゲームとりいれた「人生ノート改定第3版」を作成しました。

今後は、作成したカードゲームの活用について調査を進めていきます。また、独居や高齢者世帯の終活サポート事業について研究を進めていく予定です。



産学連携の可能性(アピールポイント)

人生の終末期において大切にしたい思いを叶えることができるように、思いを語り合う仕組みづくりが必要です。終活について、地域在住高齢者を対象にした講座や、医療・介護・福祉従事者に対する教育支援が可能です。

外部との連携実績等

①外部資金

科学研究費補助金(文部科学省基盤C), 「離島・僻地に暮らす住民のアドバンス・ケア・プランニング推進の地域づくり」, 研究代表者

②大村市「人生ノート検討委員会」委員(平成26年～継続中)

③研修講師

・大村市「人生ノート書き方講習会」

介護予防教室・医師会研修・介護支援専門員研修 講師

・大村市民公開講座「もしものときに、あなたの想いをかなえるために」 講師

・離島就業看護職研修 長崎県看護キャリア支援センター事業

「アドバンス・ケア・プランニングについて」 講師